



とうきょう総文2022 通信 第39号

「とうきょう総文2022通信」第39号では、前号に引き続き、部門大会の様子を報告します。23の部門大会における高校生の活躍をぜひ御覧ください。大会の様子は、引き続きオンデマンドでも御覧いただけます。

全国の高校生と東京都の生徒スタッフが活躍！部門大会の報告

吹奏楽部門

7月31日、8月1日の2日間、各団体の趣向を凝らした演奏を楽しむことができ、交流会では、ゆりーとやかごまるも登場して非常に盛り上がりました。講評では、講師の先生方が即興でピアノとオーボエの二重奏を演奏してくださって、感動のうちに閉会しました。ありがとうございました。



器楽・管弦楽部門

管弦楽、弦楽合奏、クラシックギター、マンドリン、ハンドベル、トーンチャイム、ビッグバンドなど多彩な音楽を存分に味わった2日間でした。交流会では、感染症対策を踏まえ、無言のゲームで交流を深めました。大会に関わった全ての皆様に感謝申し上げます。

吟詠剣詩舞部門

吟詠剣詩舞 東京都で花開く！昨年、和歌山の地で芽吹いた東京都の吟詠剣詩舞部門。今年は賑やかな東京合同チームで最高の笑顔と感動を全国にお届けすることができました。演劇部門をはじめ、大会運営を支えていただいた皆様に感謝申し上げます。

【東京合同チーム】

東京都立六本木高等学校、豊島岡女子学園高等学校、成蹊高等学校、東京都立浅草高等学校、東京都立淵江高等学校、創価高等学校



茶道部門



8月1日から4日までの4日間、感染症対策を重ねつつ、茶席研鑽会をはじめ様々な研修会を開催しました。全国からの参加校の皆様に江戸から続く茶道文化をお伝えし、東京都ならではのおもてなしをすることができました。

郷土芸能部門

8月2日から8月4日までの3日間、練馬区立練馬文化センターにて、発表と諸行事を行いました。都道府県代表校の熱い思いがこもった「伝承芸能」及び「和太鼓」の演技・演奏が披露されました。運営に携わってくださった方々や参加団体の皆様に厚く御礼申し上げます。



囲碁部門

8月1日、8月2日の2日間にわたり、各都道府県から選ばれた団体戦、男女個人戦の選手たちが熱闘を繰り広げました。講師として5名のプロ棋士を招き、大会を成功させることができました。

新聞部門

8月1日から8月3日までの3日間にわたり、三輪田学園中学校・高等学校を会場として諸行事を実施しました。交流新聞制作では、11コースに分かれて都内各地取材した後、班ごとに新聞を制作するとともに、生徒同士の交流を深めることができました。



文芸部門

5日間にわたり部誌展示と諸行事を行いました。文学研修は都内7コースに分かれ、東京に縁のある文学者の文学館や図書館を巡りました。5分野の分科会では参加生徒が活発に発言し、親交を深めながら交流を楽しみました。



自然科学部門

8月2日から8月4日までの3日間、東京富士大学、文京学院大学で開催し、全国から推薦された201校の地道な研究の成果の発表が繰り広げられました。

中央大学附属高等学校がポスター発表部門文化庁長官賞、東京都立桜修館中等教育学校がポスター発表部門奨励賞、安田学園高等学校が生物部門優秀賞を受賞するなど、東京都の高校生の研究に対して、高い評価をいただいた大会となりました。



総合開会式、パレード、部門大会の様子は
オンデマンドで御覧いただけます。

<https://tokyo-soubun2022.ed.jp/>

